

(様式1)

年 月 日

履 行 証 明 書

原子力発電環境整備機構 殿

住所
商号又は名称
代表者氏名

入札説明書について、下記のとおり証明します。

記

履行期間中に、「南鳥島の文献調査に関する情報の収集・整理」の仕様書における要件等をすべて満たした業務の提供が可能であることを証明いたします。

なお、本業務の適合証明書については、別添のとおりです。

以上

別添

適合証明書

「南鳥島の文献調査に関する情報の収集・整理」の入札説明書 1 2. (6) に基づき、以下のとおり証明いたします。

項	条件	合否	合否判定の拠所となる事由・提出資料
1	主任技術者は、技術士（総合技術監理部門（応用理学））、技術士（応用理学部門）、シビルコンサルティングマネージャー（以下「RCCM」という。）（地質）の資格保有者又はこれと同等の能力と経験を有する技術者（大学卒業後18年以上相当）であること。		主任技術者の候補を示す書類（仕様書記載の、様式-2の案（公印不要、業務経歴書添付））を提出すること。
2	本業務の実施にあたり、技術士（総合技術監理部門（応用理学））、技術士（応用理学部門）、RCCM（地質）の資格保有者又はこれと同等の能力と経験を有する技術者（大学卒業後18年以上相当）が取りまとめや主要な技術的判断を行う体制（再委託先（※）を含む）となっていること。 なお、再委託先の要員を含める場合は、当該要員の役割及び従事内容を明確にし、受託者による管理体制が明示されていること。 ※再委託先の認定には落札者決定後、当機構の定める基準に基づく手続きが別途必要となる。再委託を予定する場合、当機構の要求する基準を満たすように留意する。		実施工程、実施体制（再委託先を含む）を示した書類を提出すること。 実施工程には仕様書の実施計画書記載項目に示す工程管理計画の基本方針、工程管理の仕組みを記載すること。 実施体制には業務従事予定者及びその保有資格を記載すること。
3	至近10年以内で地層処分、原子力施設又は大深度に関わる地質関係の机上検討、調査等において、複数の業務実績（最先次での受注実績（JVを含む）又は主要な役割を担った実績）を有すること。		業務実績の概要を示した書類を提出すること。

注 「合否」欄については機構において記入する